

討議用手引き

この「討議用手引き」は、DVD視聴後にその内容をより深く理解し、共有していただくために作成したものです。研修の実施形態等により園内で適宜ご活用ください。

※討議参加者用のプリントを準備いたしました。『討議用手引き②-②(配付用)』データより出力してください。

はじめに

・グループ分け

知識や経験、世代間ギャップの垣根を超えて話し合いたいテーマです。なるべく年齢の離れた人やふだん関わりの少ない人とグループとなるように促してください。

1 地球の温暖化や昨今の天候・気象について

問：温暖化や身の回りの生活の変化について、気付いたことを話してください。

【司会者向け補足】

環境問題については、時折ニュースとなりますが、身近なこととして捉えづらいものです。環境活動家の少女グretaさんのニュースのことでも、昨今の大型台風の話でも、クーラーの使う頻度が上がった、というような日常生活に関することでも構わないので、地球環境と生活の変化に目を向けてみましょう。

2 熱中症について

問：熱中症に関する実際の体験談・周囲の人の経験や熱中症になった際の対策・応急処置の方法について、知っていることを話してみましょう。

【司会者向け補足】

暑さや熱中症のリスクというものは、人によっては縁遠いテーマです。熱中症の死亡数や搬送数などを挙げて(平成30年:死亡数1,581人(厚生労働省)搬送数:95,137人(総務省消防庁)),自分の生活の周りで起こり得ることについて考えてみましょう。

インターネット上で、厚生労働省や総務省消防庁の公表している資料を手元にご準備頂くと進めやすいかもしれません。

3 保育中の経験やヒヤリハット

問：これまでに園やクラスで行っていた暑さ対策や真夏の保育中の暑さに関する経験やヒヤリハットを共有しましょう。

【司会者向け補足】

主題である保育のテーマに入っていきます。まずは、自分たちのこれまでの取り組みやヒヤリハット事例などを共有して、現状を確認しましょう。これまで、漫然と行っていたことを、目的（熱中症対策）と強く結びつけて行っている、と確認することも重要です。

4 暑さ対策について、これから園で取り組むべきこと

問：本日の研修・ここまでのディスカッションを踏まえて、これから園・自分の保育の中で、暑さ対策、熱中症対策として、取り組むべきこと、気を付けるべきことを話し合ひましょう。

【司会者向け補足】

暑さ対策について、園一丸で検討し、ソフト面（人的）、ハード面（物的）、両方の視点で何が出来るか考えてみましょう。トップダウン方式でも良いのですが、現場の考えや意見を吸い上げて、それを園のルールや新たな取り組み・施策に結び付けてゆくことが、主体的な職場環境、人材育成にも繋がります。

5 感想

本研修での学びや気づきを書いて提出しよう！

【司会者向け補足】

総括的な感想欄を設けました。提出・回収の要否は、園の判断で自由に行っていただければと思います。